

環境目標 2 人と自然がふれあい歴史文化を愛する快適なまち

基本施策① 生態系および生物多様性の確保

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
自然の中の生き物や植物を大切にしている市民の割合(※)	%	H19	88.0	H23	47.2	H24	47.5	→	H24	47.0	H29	50.0
水辺の教室の参加人数(累計)	人	H19	64	H23	31(249)	H24	97(346)	↑	H24	239	H29	414

※ 平成21年度以降、指標の取り方を変更したため、大幅に実績値が下がっています。

【評価(数値目標の達成状況等)】

「自然の中の生き物や植物を大切にしている市民の割合」については、昨年度と比較すると微増していて、引き続き中間年度の数値目標を上回っています。

「水辺の教室の参加人数(累計)」については、開催回数を増加したことに伴い、大幅な増加となりました。

両指標について、最終年度の目標達成に向け、引き続き動植物の生息・生育環境を適切に保全、管理するとともに、自然に触れ合うことのできる場づくりに努めます。

【主な取組状況(平成24年度)】

主要施策	(1) 生物の生息・生育環境の保全・再生			
具体的な施策・事業(担当課)				
ア 自然環境に配慮した河川整備・管理(道路河川建設課) 多自然形護岸を積極的に活用し、自然環境に配慮した河川整備を進めました。				
	年度	H22	H23	H24
項目				
整備河川数(条)		5	4	3 (中川(名田島)、中津江川(秋穂)、 瀧口川(大内))
河川改修延長(m)		280	218	287

主要施策

(2) 貴重な野生動物の保護

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 法令による貴重な自然の保護

保存樹の保全 (都市整備課)

保存樹の保全に要した経費に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
補助件数	9	0	2

天然記念物指定の樹木の保護・保全 (文化財保護課)

指定天然記念物について専門家の指導を受け、草刈 (年3回実施) や保存事業等を行いました。また、枯枝事業に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
補助件数	1	1	1



《西宗寺の大ヤマザクラ》

イ 貴重な野生生物の保護

ツキノワグマの保護 (環境政策課)

県の「第3期特定鳥獣 (ツキノワグマ) 保護管理計画」に基づき、関係機関と連携しながら適切な対応を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
ツキノワグマ目撃情報件数	144	14	19

山口ゲンジボタル保護事業 (文化財保護課)

市内のゲンジボタル保護団体の活動経費に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
補助件数	2	2	2



天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画 (案) について、文化庁との協議を行いました。平成25年度中に当該計画 (改訂版) の策定を予定しております。

主要施策

(3) 野生動物の適正な保護と管理

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 野生動物の捕獲禁止 (環境政策課)

野生動物の捕獲禁止について、市報等により啓発を行いました。

また、メジロの飼養更新申請 (16件) の際に適切な指導を行いました。

イ 市民への外来種に関する周知・啓発
 外来種の流入防止のための啓発（環境政策課）

生態系に影響を及ぼすおそれのある外来生物に関するパンフレットを窓口に設置し、啓発に努めました。また、ホームページにおいて、目撃情報収集の呼びかけを行いました。



アライグマ



カミツキガメ



オオキンケイギク

スクリミング貝対策事業（農林政策課）

山口・小郡地域において、被害が生じている地域の農地所有者が中心の協議会による捕殺・溝上げ・耕起等の防除経費に対する補助を行いました。

項目	年度		
	H 2 2	H 2 3	H 2 4
補助件数	3	3	5

基本施策② みどり豊かで多様な自然環境の保全

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
山口市の自然環境に満足している市民の割合	%	H19	85.8	H23	91.7	H24	90.9	→	H24	87.1	H29	88.1
エコファーマー認定者数(累計)	人	H19	465	H23	594	H24	544	↓	H24	700	H29	700
学校給食における地元農産物を使用する割合	%	H19	38.0	H23	55.8	H24	58.0	→	H24	50.0	H29	59.0
人工林の間伐面積【再掲】	ha	H19	438.53	H23	1,016.74	H24	1,191.13	→	H24	1,226.94	H29	1,226.94

【評価（数値目標の達成状況等）】

「山口市の自然環境に満足している市民の割合」については、昨年度と比較すると微減していますが、引き続き最終年度の数値目標を上回る、高い水準を維持しています。今後も、環境マネジメントシステムの継続的改善を図りながら、市民や事業者に対し環境保全への取組みを支援、啓発することにより、成果の向上を目指します。

「エコファーマー認定者数（累計）」については、農業者の高齢化等に伴い、昨年度と比較すると減少していますが、引き続き環境保全型農業支援対策等の育成事業に努めます。

「学校給食における地元農産物を使用する割合」については、今年度から学校給食の県産原料パンの規格統一が実施されました。成果は昨年度と比較すると増加していて、引き続き中間年度の数値目標を上回っています。最終年度の目標に向け、更なる取組みに努めます。

【主な取組状況（平成24年度）】

主要施策	(1) 森林・農地の保全・活用			
具体的な施策・事業（担当課）				
ア 森林セラピー事業の推進（農林政策課） 森の案内人による森林散策の案内や森林セラピー体験イベント、モニターツアー等を実施しました。また、市報やホームページ等により普及啓発を行いました。				
	年度	H22	H23	H24
項目				
案内者数		820	422	815
イベント参加者数		861	983	1,193



イ 農業生産基盤の整備（農林整備課）

ほ場整備事業（県営）として、川西第一地区・同第二地区、二島西第一地区・同第二地区の計4地区で施工中であり、順調に整備が進んでいます。

年度	項目	ほ場整備事業完了地区	面積（ha）
H22		沖の原地区	18.5
H23		川西第一・第二地区、二島西第一・第二地区（整備中）	287.0
H24		川西第一・第二地区、二島西第一・第二地区（整備中）	287.0



ウ 耕作放棄地の解消（農林政策課）

遊休農地化防止事業として、鑄銭司地区において、大型草刈機（フレールモア）の貸付けを新規で行いました。また、秋穂二島地区において、山口型放牧による耕作放棄地の解消に取り組みました。

エ 農地の保全

中山間地域等直接支払事業（農林政策課）

対象協定に交付金を交付し、集落等による農地の保全活動を促しました。

→交付集落数：78 / 交付金額：276,745,380円

農地・水保管理支払交付金事業（農林整備課）

43組織、5,132.1haにおいて、農地・農村環境の保全活動を行いました。

※本市の農振農用地の66.24%において、取り組みが行われています。

項目	年度	H22	H23	H24
協定活動組織数		41	42	43
活動対象農地（ha）		5,041.04	5,063.65	5,132.1

オ 市民農園の整備促進（農林政策課）

食と農のネットワーク事業として、市民農園開園者への事業支援とともに、利用希望者の募集・広報、都市部での農村情報の発信、農業体験等のイベントによる啓発を通じて、市民に対し農業、農村の理解促進を図りました。

項目	年度	H22	H23	H24
市民農園使用者数		64	81	100

主要施策 (2) 環境保全型農業の推進

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 有機栽培や減農薬栽培の推進 (農林政策課)
各関係機関と連携し、エコファーマーの育成等に努めました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
エコファーマー新規認定者数	1 5 0	4 6	2 5
エコファーマー認定者数 (累計)	6 7 1	5 9 4	5 4 4
農家台帳戸数 (戸)	9, 9 4 1	9, 6 1 2	9, 5 7 0
エコファーマー認定者率 (%) (エコファーマー認定者数 / 農家台帳戸数)	6. 7	6. 2	5. 7

主要施策 (3) 地産地消の推進

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 地場製品のPR
地場産業振興事業 (商工振興課)
物産パンフレット「おみやげぼん。」の改訂・増刷を行うとともに、物産イベントを開催、参加しました。



イ 学校給食における地産地消の推進
食と農のネットワーク推進事業 (農林政策課)
じゃがいも、ほうれんそう、はなっこりーのコンテナ納入システムを実施しました。

主要施策 (4) 豊かな流域づくりの推進

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 河口干潟環境等の保全・再生 (環境政策課)
榎野川河口域・干潟自然再生協議会の取組みとして、住民参加による干潟再生活動等に参加しました。





《榎野川河口域・干潟等に生息する生物》

主要施策	(5) グリーンツーリズムの推進
具体的な施策・事業 (担当課)	
<p>ア 農家民宿の普及 (中山間地域活性化推進室) やまぐち元気! むらまち交流推進協議会による情報誌発行 (年4回) 等のPR支援を行いました。</p> <p>あとうスロー・ツーリズム推進協議会と連携し、阿東地域において農家体験モニターツアーや農家が料理を持ち寄る「家庭料理大集合」を実施しました。</p> <hr/> <p>イ 地域の食材を使った観光資源化の促進 食と農のネットワーク推進事業 (農林政策課) 「しっちゃん鍋」や「平成大内御膳」等の郷土料理について、関係団体と検討、協議を行いました。</p> <p>観光ブランド創出事業 (観光課) 室町時代の大内御膳を「平成大内御膳」として再現し、湯田温泉において期間限定で提供しました。</p> <div data-bbox="1029 701 1465 974" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">《平成大内御膳》</p>	
主要施策	(6) 自然景観の計画的な保全
具体的な施策・事業 (担当課)	
<p>ア 景観計画の策定 (都市計画課) H24主要施策</p> <p>山口市景観形成基本方針を踏まえ、平成25年3月に景観法に基づく「山口市景観計画」を策定しました。</p> <div data-bbox="272 1352 1442 1715" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>山口市では、地域の景観への配慮を通じ、地域の特性を生かした景観形成に取り組んでいくため、平成25年3月、山口市景観計画を策定しました。</p> <p>景観計画とは、景観法に規定される良好な景観の形成のための計画で、本市では、市全域を対象に、建築行為等に際しての景観形成基準などを定めています。</p> <p>今後、市内で家を建てられる場合などは、景観計画に定められた景観形成基準を遵守していただく必要があります。また、一定規模以上の建築行為等は、景観法に基づく届出が義務づけられることとなります。</p> </div>	
主要施策	(7) 良好な自然景観の保全・創造と活用
具体的な施策・事業 (担当課)	
<p>ア 景観作物の栽培促進 (農林政策課) 田園景観の保全・形成を目的に、中山間地域等直接支払事業において、遊休農地に菜の花やコスモス等の景観作物の栽培を促しました。</p>	

基本施策③ 自然とのふれあいの確保

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
森の案内人による案内人数	人	H19	914	H23	422	H24	815	↑	H24	2,000	H29	2,000
★都市農村交流の人口	千人	H19	1,759	H23	1,952	H24	1,842	↓	H24	2,150	H29	2,250
水辺の教室の参加人数(累計)【再掲】	人	H19	0	H23	31(249)	H24	97(346)	↑	H24	239	H29	414

【評価(数値目標の達成状況等)】

「森の案内人による案内人数」については、中間年度の数値目標には到達していませんが、市内はもちろん、近隣市や県外からの来訪者に加え、リピーターも増加傾向にあることから、前年度と比較すると大幅な増加となっています。今後も引き続き、県内外へのPRを充実させ、成果の向上を図ります。

「都市農村交流の人口」については、昨年度と比較すると減少しています。目標達成に向けて、更なる取組み(市民農園等での農林体験や交流、道の駅や農産物直売施設等との連携)が必要であると考えます。

【主な取組状況(平成24年度)】

主要施策	(1) ふれあいの場づくり
具体的な施策・事業(担当課)	
<p>ア 森林とふれあう場の整備 (観光課) 重源の郷の体験交流公園内の屋根ふき替えや、大原湖キャンプ場のケビン改修を行いました。</p> <p>(農林整備課) 森林公園(おとどい山森林公園、犬鳴森林公園、鴻ノ峰創造の森、四季の森、鋤尖山記念樹の森の5施設32ha)の維持管理を行いました。</p>	
	

主要施策 (2) ふれあいの機会づくり

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 都市農村交流の推進 (農林政策課)

市民農園の開設希望者の募集や、道の駅や農産物直売施設等における関係団体との情報交換会 (年5回)、イベント (年1回) の開催を行いました。

イ 市民参加型調査による環境意識啓発 (環境政策課)

環境学習の一環として、水辺の教室を3回実施しました。

年度	実施日	実施場所	参加人数
H22	9月16日	榎野川	16
	9月13日	仁保川	34
H23	9月4日	榎野川	増水中止
	9月11日	仁保川	31
H24	6月9日	四十八瀬川	53
	9月9日	榎野川	18
	9月9日	仁保川	26



ウ 学校教育におけるふれあいの機会づくり (学校教育課)

各小中学校での学校教育において、地域の自然を活用した特色ある環境活動を通じて、自然とのふれあいを推進しています。環境学習内容 (資料編P80~91参照) としては、自然体験学習 (米作り等) や地域探検 (自然、生物観察) 等を実施しました。



《田植え体験 (上郷小)》



《地域探検 (小鯖小)》

主要施策 (3) ふれあいのマナーの向上

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 自然と共生するためのマナーの啓発 (環境衛生課)

ポイ捨て禁止等の看板配布、市報による啓発等を行いました。

項目	年度	H22	H23	H24
	ポイ捨て禁止看板配布数 (枚)		42	31
不法投棄防止看板配布数 (枚)		66	47	55
市報による啓発回数		2	2	2

基本施策④ 歴史的文化的環境の保全

◆ 進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
									中間年度		最終年度	
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		年度	数値	年度	数値
山口市の歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	%	H19	75.5	H23	76.8	H24	74.1	→	H24	現状以上	H29	77.0
文化財等を活用したイベントの参加人数	人	H19	874	H23	1,038	H24	1,169	↑	H24	950	H29	1,100

【評価（数値目標の達成状況等）】

「山口市の歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民の割合」については、昨年度と比較すると減少しています。山口市まちづくりアンケート結果において、20歳代から30歳代までの指標値が他の世代に比べて低いことから、今後は、こうした若い世代が本市の歴史等に愛着を持てるよう積極的に文化・芸術に触れる機会の創出に努めます。

「文化財等を活用したイベントの参加人数」については、大内氏歴史研究会や文化財を守る会主催の講座が増加したことから、参加人数が増加し、最終年度の数値目標を達成しました。今後も、更なる啓発活動に取り組みます。

【主な取組状況（平成24年度）】

主要施策	(1) 文化財の保全			
具体的な施策・事業（担当課）				
ア 文化財の保存修理（文化財保護課）				
国・県指定文化財の保存修理に対する補助を行うとともに、未指定文化財や開発に伴う試掘・立会調査を行いました。また、大内氏館跡・築山跡・凌雲寺跡の発掘調査を行い、報告書を作成しました。				
	年度	H22	H23	H24
項目				
保存修理に対する補助件数		2	1	6
未指定文化財調査（回）		2	3	5



《国宝 瑠璃光寺五重塔》

主要施策 (2) 郷土の歴史・文化の継承と活用

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 歴史と文化を活かしたイベントの支援 (文化政策課)

大内文化特定地域活性化推進事業として、当該地域の歴史資源等を活用した各種イベントの支援を行いました。

年度	項目	補助金交付事業
H 2 2		アートふる山口、いつでもアートふる山口、山口アーツ&クラフツ
H 2 3		アートふる山口、山口市指定史跡十朋亭特別講演会、日本のクリスマスは山口から
H 2 4		アートふる山口、山口県総合芸術文化祭 山口県川柳大会

イ 郷土にゆかりのある文学者の理解促進 (文化政策課)

中原中也記念館、嘉村磯多生家「帰郷庵」等の運営を通じて、文化の向上や地域振興に取り組みました。

《中原中也記念館》

項目	年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
入場者数 (人)		18,914	17,511	17,097
企画展 (回)		4	3	3
講座講演 (回)		14	14	14
関連資料の収集 (点)		375	309	309

《嘉村磯多生家「帰郷庵」》

項目	年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
見学者数 (人)		1,077	4,036	3,133
時間利用者 (人)		131	546	466
宿泊利用者 (人)		74	377	482



《中原中也記念館》



《帰郷庵》

ウ 郷土の伝統産業や祭りの振興 (観光課)

観光夏まつり開催事業等として、山口祇園祭や山口七夕ちようちんまつり、湯田温泉白狐祭り等、地域に根ざした祭りへの支援を行いました。

項目	年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
祭りへの助成件数		13	13	13
祭りの来場者数 (千人)		458	460	541

基本施策⑤ 山口らしい都市空間の保全・創出

◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成23年度 実績値		平成24年度 実績値		評価	目 標			
									中間年度		最終年度	
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		年度	数値	年度	数値
公園が利用しやすいと思う市民の割合	%	H19	69.8	H23	75.5	H24	75.3	→	H24	70.0	H29	75.0
景観やまちなみに満足している市民の割合	%	H19	71.7	H23	81.1	H24	79.9	→	H24	現状以上	H29	72.0
緑のカーテンの実施割合（家庭）	%	H21	—	H23	20.5	H24	21.7	→	H24	5.0	H29	10.0
不法投棄の発見報告件数	件	H19	48	H23	9	H24	7	→	H24	43	H29	38

【評価（数値目標の達成状況等）】

「公園が利用しやすいと思う市民の割合」及び「景観やまちなみに満足している市民の割合」については、昨年度と比較すると微減していますが、引き続き最終年度の数値目標を上回る、高い水準を維持しています。今後は、平成24年度に策定しました景観計画や公園の長寿命化計画に基づく取組みを行い、成果の向上を図ります。

「緑のカーテンの実施割合（家庭）」については、最終年度の数値目標を大きく上回る、高い水準を維持していることから、引き続き山口市地球温暖化対策地域協議会（温暖化とめるっっちゃネットワークやまぐち）との連携、協働のもと、イベント等による啓発に努めます。

「不法投棄の発見報告件数」については、公害苦情相談に係る件数を挙げています。今後も引き続き、環境美化協力員等と連携しながら啓発や監視パトロール等に努めます。

【主な取組状況（平成24年度）】

主要施策	(1) 適正かつ合理的な土地利用の推進
具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア 環境保全に配慮した計画的な土地利用の推進（農林政策課） 優良農地確保促進事業として、生産の合理化が可能な、集団的に存在する農地の維持・確保のため、適正な事務処理に努めました。 また、平成25年3月に「山口農業振興地域整備計画」を策定しました。 ※農用地区域面積：7,842ha（平成25年3月末日現在）</p>	

主要施策 (2) 景観などに配慮したまちづくりの推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 「山口市都市景観条例」の活用
都市景観形成事業（都市計画課）

山口市都市景観条例（現：山口市景観条例）に基づき、都市景観形成地区に指定した「一の坂川周辺地区（約12ha）」において、建築等の届け出に対し、地区景観形成方針や基準による助言・指導を行いました。

また、全市域において、大規模建築物の建築に対する景観上の助言・指導も行いました。

※平成25年3月に「山口市景観計画」を策定し、併せて山口市都市景観条例を「山口市景観条例」に改正しました。

【都市景観形成地区（一の坂川周辺地区）の概要】

○区 域 後河原の一部及び新馬場の一部

○地区景観形成基準

- ・建築物の階数は、3階以下とする。
- ・工作物の高さは、13m以下とする。
- ・建築物等の形態は、勾配屋根にする等、周囲の景観と調和のとれたものとする。
- ・建築物の色彩は、周囲と調和のとれた落ち着いた色調とする。等

項目	年度		
	H22	H23	H24
大規模建築の建築に対する助言・指導件数	6	0	2

匠のまち創造支援事業（商工振興課）

大内文化特定地域内に新規出店する事業者に対し、出店に係る経費を補助しました（店舗外観は、歴史的町屋景観を活かす。）。

項目	年度		
	H22	H23	H24
補助件数	0	1	3

イ 中心市街地への都市機能の集積（中心市街地活性化推進室、建築課、商工振興課）

「山口市中心市街地活性化基本計画」等に基づき、中心商店街の空き店舗への出店促進や、商店街で実施するイベント経費に対する補助、市街地に建設される住宅の借上げ等を行いました。

項目	年度		
	H22	H23	H24
空店舗への入店件数	2	5	19
商店街通行量（人）	53,483	53,225	54,411

ウ 周辺環境との調和および個性の創出（TP計画課）

新山口駅ターミナルの整備事業として、表口駅前広場整備に伴う基本設計の中でランドスケープデザイン（植栽、舗装等の計画）や光のデザインについて、景観に配慮しました。

エ 環境に配慮した道路づくりの推進（道路河川建設課）
市道東畑線（阿東）、市道黄金町野田1号線（山口）、市道中領新山口線（小郡）の歩道を透水性舗装で施工しました。

主要施策 （3）市街地の緑化の推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 市民の生垣設置促進（開発指導課）
山口市みどりの生活通り推進事業として、市民への生垣の設置費に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
補助件数	11	3	6

イ イベントを通じた緑化意識の啓発（中心市街地活性化推進室、商工振興課）

項目 \ 年度	実施内容
H 2 2	平成22年度山口市都市緑化祭を開催し、緑化の提案、造園協会の活動紹介、花と種と啓発パンフレットの配布を実施しました。 ----- 11月6日に中心商店街開催の「HOLA!やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。
H 2 3	10月29日に中心商店街開催の「HOLA!やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。
H 2 4	平成24年度山口市都市緑化祭を開催し、緑化の提案、造園協会の活動紹介、花と種と啓発パンフレットの配布を実施しました。 ----- 11月3日に中心商店街開催の「HOLA!やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。



《HOLA!やまぐちスペインフィエスタ》

主要施策	(4) 不法投棄、ポイ捨て対策の推進
------	--------------------

具体的な施策・事業（担当課）

ア 連携による不法投棄・ポイ捨て防止対策（環境衛生課）
 環境美化協力員及び各地域の環境衛生団体との連携によるポイ捨てや不法投棄防止の啓発、監視パトロール等を継続して行いました。

項目	年度		
	H 2 2	H 2 3	H 2 4
不法投棄相談・報告件数	4	93	7

主要施策	(5) 環境美化活動の推進
------	---------------

具体的な施策・事業（担当課）

ア まちの美化活動への市民参加の促進（環境衛生課）

地域名	活動内容
山 口	「春季清掃月間」の設定、「ふしの川水系クリーンキャンペーン」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
小 郡	「地区清掃」の設定、「ふしの川水系クリーンキャンペーン」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
秋 穂	「春季清掃月間」と「秋季清掃月間」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
阿知須	各自治会による清掃活動の定期実施
徳 地	例年7月に「地域一斉清掃」の実施
阿 東	各自治会による清掃活動の定期実施



《ふしの川水系クリーンキャンペーン》